

科目名	からだのしくみ 1							年度	2026
英語科目名	Body Mechanics 1							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	神野宏司	教員の実務経験		有	実務経験の職種		大学教授		
【科目の目的】 医療を志す者にとって基本的な学問であり柔道整復師として人体の構造を立体的に把握できることを目的とする。									
【科目の概要】 体の働きについての概要を学びます。									
【到達目標】 体の構造や機能に対する知識は、すべての医学分野の学習において欠く事のできないものといえる。この科目では、人体を深く理解するうえで広範囲な人体の10系統について医療現場にて患者へ必要かつ理解しやすい説明を行える知識を習得することを目標としている。									
【授業の注意点】 国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な対応ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	細胞・組織・器官について完全に理解している。	細胞・組織・器官について大体理解している。	細胞・組織・器官について部分的に理解している。	細胞・組織・器官についての理解がやや不足している。	細胞・組織・器官について理解していない。				
到達目標 B	脈管系について完全に理解している。	脈管系について大体理解している。	脈管系について部分的に理解している。	脈管系についての理解がやや不足している。	脈管系について理解していない。				
到達目標 C	消化器系について完全に理解している。	消化器系について大体理解している。	消化器系について部分的に理解している。	消化器系についての理解がやや不足している。	消化器系について理解していない。				
到達目標 D	呼吸器系について完全に理解している。	呼吸器系について大体理解している。	呼吸器系について部分的に理解している。	呼吸器系についての理解がやや不足している。	呼吸器系について理解していない。				
到達目標 E	泌尿器・生殖器について完全に理解している。	泌尿器・生殖器について大体理解している。	泌尿器・生殖器について部分的に理解している。	泌尿器・生殖器についての理解がやや不足している。	泌尿器・生殖器について理解していない。				
【教科書】 教科書は「解剖学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		からだのしくみ1			年度	2026
英語表記		Body Mechanics 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	解剖学総論①	解剖学の意義と分類について。	1 意義	生物の形態と構造を調べる学問を理解する。	3	
			2 分類	肉眼解剖学・顕微解剖学・発生学について理解する。		
			3 解剖学用語	人体各部の名称・位置・方向を理解する。		
2	解剖学総論②	細胞および組織について。	1 細胞とは	人体を構成する最小単位について理解する。	3	
			2 細胞の形態と内部構造	細胞膜・核・細胞質について理解する。		
			3 組織の分類と特性	上皮・支持・筋・神経各組織について理解する。		
3	脈管系①	血管について。	1 体循環と肺循環	心臓を中心とする血液循環の2系統について理解する。	3	
			2 血管の形態	吻合・動静脈吻合・伴行静脈などについて理解する。		
			3 血管の構造	動脈と静脈について理解する。		
4	脈管系②	心臓について。	1 位置と形態	横隔膜の上、および左右の肺の間に存在することを理解する。	3	
			2 構造	上方の心房と下方の心室に分けられることを理解する。		
			3 刺激伝導系	洞房系と房室系を理解する。		
5	脈管系③	動脈系について。	1 頭部・頸部の動脈	大動脈弓の枝からの各分枝について理解する。	3	
			2 上肢・下肢の動脈	鎖骨下動脈の続きや大腿動脈の続きを理解する。		
			3 胸大動脈と腹大動脈	横隔膜の大動脈裂孔が境界となることを理解する。		
6	脈管系④	静脈系について。	1 上大静脈	腕頭静脈・頭頸部の静脈・上肢の静脈について理解する。	3	
			2 下大静脈	壁側根と臓側根について理解する。		
			3 門脈	胃・腸・脾臓・膵臓および胆嚢の静脈血を集めることを理解する。		
7	脈管系⑤	リンパ系について。	1 リンパ系の役割	リンパ管を介して静脈まで運び組織液を回収することを理解する。	3	
			2 リンパ本幹	区分と機能について理解する。		
			3 リンパ性器官	リンパ節の構造と分布を理解する。		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 解剖学総論	解剖学用語と細胞および組織について理解する。	3	
			2 血管・心臓	形態・構造・機能について理解する。		
			3 動脈・静脈・リンパ	形態・構造・機能について理解する。		
9	内臓系①	消化器①について。	1 消化器の働き	摂取した食物の栄養分を消化吸収し老廃物を排泄することを理解する。	3	
			2 消化器の種類と構造	中空性臓器と実質性臓器について理解する。		
			3 口腔・咽頭	形態・構造・機能について理解する。		
10	内臓系②	消化器②について。	1 食道・胃	形態・構造・機能について理解する。	3	
			2 小腸	形態・構造・機能・区分について理解する。		
			3 大腸	形態・構造・機能・区分について理解する。		
11	内臓系③	呼吸器①について。	1 呼吸器の働き	酸素を取り入れ代謝の結果、炭酸ガスを排出することを理解する。	3	
			2 呼吸器の種類と構造	気道と肺について理解する。		
			3 鼻腔	形態・構造・機能について理解する。		
12	内臓系④	呼吸器②について。	1 咽頭・喉頭	形態・構造・機能について理解する。	3	
			2 気管・気管支	形態・構造・機能について理解する。		
			3 肺	形態・構造・機能・区分について理解する。		
13	内臓系⑤	泌尿器について。	1 泌尿器の区分	腎臓・尿管・膀胱・尿道について理解する。	3	
			2 腎臓	形態・構造・機能について理解する。		
			3 尿管・膀胱・尿道	形態・構造・機能について理解する。		
14	振り返り	前期9回～13回の講義の振り返り。	1 消化器	役割・形態・構造・機能・区分について理解する。	3	
			2 呼吸器	役割・形態・構造・機能・区分について理解する。		
			3 泌尿器	役割・形態・構造・機能・区分について理解する。		
15	内臓系⑥	生殖器について。	1 生殖器の働き	子孫を絶やさず種族の維持をはかるための器官について理解する。	3	
			2 男性生殖器・精巣	役割・形態・構造・機能について理解する。		
			3 男性生殖器・前立腺	役割・形態・構造・機能について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等